コ・ステ浅野(香川町浅野五二六―一)、エコ・ステ成合(高松市成合町八一二―一 西村ジョイ成合店の東側駐車場奥)。古新聞、 再生資源の集荷販売等を手掛ける丸八商工株 (高松市朝日町 八田憲明社長) は2月3日、 リサイクルステーション「エコ・ステ」を新たに2ヶ所新設する。 古雑誌、古着を無料で受け入れる。

町とも力を入れて

オリーブは県

いる事業で、成長

百十四6次化サポー 株蒼のダイヤに県内初出資 トファンド

多度津産オリーブのブランド化に追い

青木一一四—— て㈱蒼のダイヤ 五〇〇万円を出資した。 トファンド)」は、第1号案件とし 「百十四6次産業化投資事業有限 (愛称=百十四6次化サポ (仲多度郡多度津町 渡邊雅春社長)

出資となった。 産業化事業体に投資する地域ファン 機構(東京都)と共同で設立した6次 社長)が 樹頭取)と百十四リース㈱(石川 アンドで、 同ファンドは百十四銀行 2014年に設立された官民フ 、株農林漁業成長産業化支援 香川県内においては初の (渡邊智

工して、 投資は同町内で建設を予定する、 るという。 リーブ製品の加工場資金に充てられ の塩漬けの製造販売を展開。 られている多度津町産オリーブを加 蒼のダイヤは、ブランド化が進 オリーブオイルやオリー 今回

定)が出資しており、同ファンド出資 う四変テッ する (農) (一〇〇〇万円)、加工·販売支援を行 同社は、 ク株 たどつオリーブ生産組合 オリーブの原材料を提供 (五〇〇万円出資予

> 本金三〇〇〇万円となる予 (農) たど 風

後 は資

度津町も各種支援を行う。 ド協力のもと事業基盤の拡大を図っ 業体として同社を設立し、同ファン ていくというスキーム。 内の四変テック㈱が加工販売を請け タート。 負ってきたが、新たに6次産業化事 事業の一環でオリーブ植栽事業をス の生産品目転換や、 つオリーブ生産組合が、 そもそもは1次産業者の 2・3次産業者として同町 耕作放棄地解消 香川県や多 ぶどうから

苔のダイヤ 苔のダイヤ

ながら、 トも行っていくという。 高いことから、 とともに、 ブ製品はアジアなど海外での評価も して確立させたい」と力を込める。 める5~10年後には地域ブランドと Tシャツ、タオルの 御用命はラブ・ラオ また県内、国内はもとより、 サポートといった経営支援を行う 決め手になったといい、 オリジナルウェア製作 まとまった量の生産が見込 資金需要にも応えていき 輸出に向けたサポー 査役)ことが出資 域 性や事業性が高 グリサポートデス 生・振興チームア い」(営業統括部地 活性化 岡本裕介副調 「販路開拓

買い戻す計画だ。 なお同ファンドの保有株について 10年後を目処に㈱蒼のダイヤが

なく、 生における地域産業の活性化だけで 者への出資等を通じ、 雇用創出にも繋げていきたい」と意 付加価値向上をサポートし、地方創 アンドで6次産業化に取り組む事業 ーブに注目する自治体は多い。当フ 査役は「地方版総合戦略の中で、オリ 同チーム・チーム長の片山将光調 耕作放棄地の有効活用による 事業の成長や



室 創

欲的。

たい」と話している。 くりを心がけながら、 しつつ、決して真似をしない商品づ 有名だが、大先輩の小豆島を参考に 渡邊社長は「オリーブは小豆島が の新しい使用用途を考察していき オリーブオイ

、オリー

1月20日、瓦町FLAGで 28年度税制改正セミナー

步。 昇東京支店長 株みどり財産コンサルタンツの内田 ナー&賀詞交歓会を開く 志男代表)は、1月20日休に (高松市塩上町三— 15時より第1部セミナー。 みどり合同税理士法人グループ 「実効税率さらなる引下げ!資 (公認会計士·税理 1 新 講師は 春セミ

B

73862-5586

16

税制改正の要点解説 消費税の改正は?平成28年度

例を解説する。 続、事業承継対策の成功事例、失敗事 税制、経営安定化策、退職金積立、相 あう方法」。法人化、分社、 コンサルタンツの竹本正憲特別顧問 平成28年度税制改正と上手につき (1級FP技能士・税理士) による 16時からの第2部は㈱みどり財産 投資促進

会参加は五千円 トーレ」。セミナー ン料理店 0 カワラバンケット セミナー会場は瓦町FLAG10階 17時より賀詞交歓会。 一)、交歓会は同フロアのイタリア 「ラランテルナ ダ サルバ 参加は無料。 (常磐町一一二

〇一三四四

いい葬儀の いいエレ - ル上福岡 ●エレナタカソ会館 - ル塩上 ●エレナホール牟礼 - ル香西 ●家族界ホールエレナレインボー通り店 的特的店

㈱エレナ高松葬儀社 0000120-807-459